

PIONEER STEREO RECEIVER

SX-818 SX-515 QX-704
SX-717 SX-414 QX-604
SX-616 SX-300 QX-401

'73 10月改訂版



新製品



豊富な入出力端子。品位の高い音質を豊かに再生します。

低歪率、ハイパワー設計の全段直結純コンプリメンタリーオンチル回路採用。

差動2段、全段直結純コンプリメンタリーオンチル方式のパワーアンプ部

パワーアンプ部は超低域、超高域で影響のない結合コンデンサーを一切使わない全段直結純コンプリメンタリーオンチル方式。しかも差動アンプを2段採用し、大量の負帰還をかけて、温度変化に対しても高い安定度を得ています。

20~20,000Hz出力55W+55Wの低歪、大出力

アンプにとってもっとも厳しい測定基準といわれる20~20,000Hz出力は両ch駆動で55W+55W(8Ω、歪率0.3%以下)。ダイナミックレンジの広いソースを余裕をもって再生できるハイパワー仕様です。

動作が確実で完璧な保護回路

パワーリレーと電子回路を組合せた検知速度の速い本格的な保護回路を採用。誤操作や不慮のトラブルからパワートランジスターとスピーカーを守ります。しかも自動復帰式です。また電源投入時の雑音を除去する電源ミューティングも兼ねています。

MOS FET、4連バリコン使用のFMフロントエンド

厳選したデュアルゲートMOS FETと4連バリコンを組合せて高感度、高S/Nを得ると同時にイメージ/スブリアス妨害比など、混信排除能力を大幅に向上させています。遠隔地での高S/N受信はもちろん強電界地域での安定した受信にすばらしい威力を発揮します。

全段をIC化したIF、FM MPXセクション

IF部は全段をIC化し、選択素子にはとくに位相特性に留意したフェイズリニアセラミックフィルターを採用。キャブチュアレシオ、2信号選択度にすぐれ、雑音や歪の少ない音質を得ています。またFM MPXにも専用のICを採用。性能に加え信頼性を大幅に向上させ、広い周波数帯域にわたって安定したセパレーションと低歪率を得ています。

高S/N受信を重視したAMチューナー

AM部にも3連バリコンを使った同調型RF増幅とIF部にIC、セラミックフィルターを使用。感度、選択性、混信排除能力にすぐれ、雑音や歪の少ないAM放送が楽しめます。

3段直結方式の高度なイコライザーアンプ

イコライザーアンプは歪が少く安定した動作が得られる低雑音のシリコントランジスターによる3段直結E-E帰還型。RIAA偏差を最小限に抑え、最大許容入力を十分に大きくとっています。

FET使用のNFB型高級コントロール回路

コントロール回路は初段に低雑音のFETを使ったNFB型です。S/Nにすぐれ、入力インピーダンスが高いため、常に安定した動作で素直なトーン特性が得られます。

応用テクニックが楽しめる豊富な入力出端子
入力側はPHONO、TAPE MONがそれぞれ2

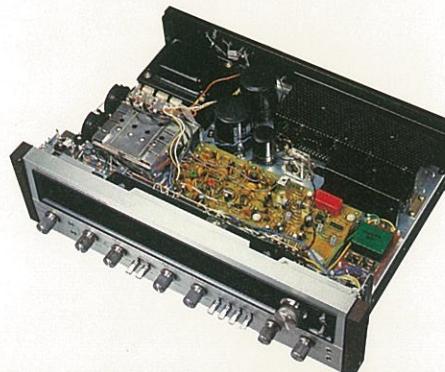
系統すつ完備(別売のMCトランジスタPP-402の使用でMCカートリッジも可)。スピーカー端子はA、B、Cの3組。A、B、C、A+B、A+C、OFFの6ポジションに切換えることができます。

ダイアル照明は2段切換

ダイアル照明の減光スイッチ(ディマースイッチ)により、部屋の明るさに応じて、明暗が選べます。

付属機器

- オーディオミューティング
- プリ/パワーアンプ分割
- ハイ/ローフィルター
- セレクターインジケーター



ステレオレシーバー

SX-818

定価 ¥100,000

規格

パワーアンプ部	差動2段全段直結純コンプリメンタリーオンチル
回路方式	差動2段全段直結純コンプリメンタリーオンチル
実効出力(20Hz~20kHz、両ch駆動)	55W+55W(8Ω)、65W+65W(4Ω) (1kHz、両ch駆動) 60W+60W(8Ω)、75W+75W(4Ω) (1kHz、片ch駆動) 70W+70W(8Ω)、95W+95W(4Ω)
高調波歪率(実効出力時)	0.3%以下
(1W出力時)	0.07%以下
混音歪率(1W出力時)	0.3%以下
(1W出力時)	0.07%以下
出力帯域幅(IHF、両ch駆動)	5~40,000Hz(歪率0.3%)
周波数特性	5~80,000Hz +0dB、-1dB
入力端子(感度/インピーダンス)	
POWER AMP IN	500mV/50kΩ
出力端子(SPEAKER)	A、B、C、A+B、A+C
HEAD PHONES	4~16Ω
ダンピングゲーティング(1kHz、8Ω)	40以上
S/N(IHF、ショートサーキット)	95dB以上
Aネットワーク	95dB以上
残留雜音(8Ω、プリ+パワーアンプ)	1mV以下
プリアンプ部	イコライザーアンプ
回路方式	3段直結NF型
コントロールアンプ	初段FET NF型
入力端子(感度/インピーダンス)	
PHONO.1	2.7mV/50kΩ
PHONO.2,MM,MC	2.7mV/50Ω, 115mV/30Ω(MC用入力トランジスタPP-402使用)
PHONO最大許容入力(rms/p-p)	130mV/360mV
MIC	2.6mV/50kΩ
AUX	200mV/100Ω
TAPE MONITOR.1,2	200mV/100kΩ
TAPE MONITOR.1(DIN)	200mV/100Ω
出力端子(レベル/インピーダンス)	
TAPE REC.1,2	200mV
TAPE REC.(DIN)	35mV/85kΩ
PRE OUT	500mV/300Ω
高調波歪率(20Hz~20kHz)	0.1%以下
周波数特性PHONO(RIAA偏差)	30~15,000Hz ±1dB
MIC	20~20,000Hz ±1dB
AUX,TAPE MON	10~40,000Hz ±1dB
トーンコントロールBASS	±10dB(10kHz)
TREBLE	±10dB(10kHz)
フィルターLOW	60Hz(12dB/oct)
HIGH	6kHz(24dB/oct)
ラウドネスセンター	
(ボリューム~40dB時)	+10dB(100Hz)、+6dB(10kHz)
S/N(IHF、ショートサーキット)	80dB以上
AネットワークPHONO	80dB以上
MIC	70dB以上
AUX,TAPE MON	90dB以上
ミューティング	-20dB
FMチューナー部	
実用感度(IHF)	1.8μV
キャブチュアレシオ(IHF)	1dB
実効選択性(IHF)	80dB
S/N	70dB
イメージ妨害比(82MHz)	90dB以上
IF妨害比(82MHz)	100dB以上
スブリアス妨害比	100dB以上
AM抑圧比	55dB
高調波歪率	0.2%以下
ステレオ	0.4%以下
周波数特性	20~15,000Hz,+0.2dB,-2.0dB 50~10,000Hz,+0.2dB,-0.5dB
ステレオセパレーション1kHz	40dB以上
50Hz~10kHz	30dB以上
キャリアアリーフ抑圧比	65dB
アンテナ	300Ω平衡型、75Ω不平衡型
ON-OFF	
AMチューナー部	
実用感度(IHF、バーアンテナ)	300nV/m
実用感度(IHF)	15μV
選択性	40dB
S/N	50dB
イメージ妨害比	65dB
IF妨害比	85dB
アンテナ	フェライトバーアンテナ自蔵
電源部その他	
消費電力	150W(定格)、370W(最大)
外形寸法	485(W)×150(H)×375(D)mm
重量	14.8kg



きめ細い解像力、豊かで澄みきった音質。

高感度、高選択度チューナーとハイパワーアンプの組合せ。

FET使用の高感度FMフロントエンド

4連バリコンとFETを組合せたRF2段増幅のフロントエンドを採用。高感度化に加えて、イメージ妨害比90dB以上、S/N70dBというすぐれた妨害排除特性を示し、弱電界地域でもHi-Fi受信ができます。

シャープな選択度特性のFM IF部

FM IF部にはICとセラミックフィルターを組合せてシャープな選択度特性を得ています。実効選択度70dB以上、キャップチャレシオ2dB(IHF)という数値がその性能を証明します。

完璧な自動復帰型保護回路

電子回路とリレーを組合せたバイオニア独自の保護回路を採用。出力段の直流バランスがくずれたり、スピーカー端子のショートなどのトラブルが発生すると、ただちにリレーを働かせ、スピーカーやパワートランジスターを保護します。この保護回路は電源ミューティングも兼ねており、電源投入時の雑音をおさえます。なおこの回路は自動復帰式ですから動作してもトラブルの解消と同時に通常の状態に戻ります。

低歪率、大出力の全段直結純コンプリメンタリーOCL回路のパワーアンプ

低歪率、大出力、さらに広帯域再生を実現するため、パワーアンプ部に全段直結純コンプリメンタリーOCL回路を採用しました。パワー、歪率、ダンピングファクターのいずれの

特性も超低域にまで直線的にのびています。出力帯域幅は10~60,000Hz(IHF)、実効出力は37W+37W(20~20,000Hz, 8Ω, 歪率0.5%)と安定したハイパワーを得ています。

音質を重視したAMチューナー部

AMにはHi-Fi受信を考えてフォワードAGC回路を採用。強入力時の歪も少なく、強電界地域でも安定した受信ができます。IF部にはセラミックフィルターを使用。選択度をはじめ諸特性を向上させています。

大型で見やすいダイアルと2メーター方式

FM目盛はリニアスケールで大きく、選局が一段としやすい構成です。メーターはシグナルとセンターチューニングの2メーター方式でS/N最大、歪最少点が正確に簡単に得られます。

トーンコントロール回路にもFETを採用

トーンコントロールアンプは初段にFETを使用した3段直結NF型回路。ツマミは二重型でBASS、TREBLEとも左右、それぞれ独立してコントロールできます。またクリックストップ式ですから、リスニングルームに合わせた特性の再現が手軽にできます。

瞬時に-20dBの減衰ができるオーディオミューティング

ブッシュボタンを指先で軽くおさだけで、一瞬にして音量レベルを-20dB減衰させることができます。演奏中に電話がかかってきたときなど、いったん音量をダウンさせ、ふたた

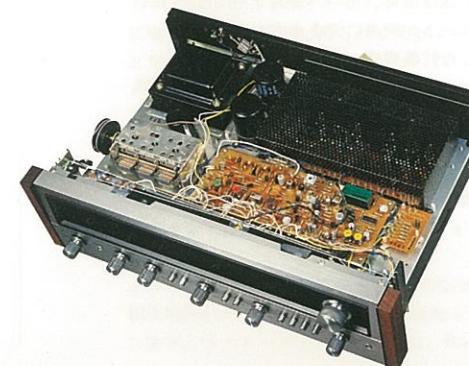
びもとの音量へ正確に戻したいときに便利に使えます。

豊富にそろった入出力端子

PHONO、TAPE端子はそれぞれ2組完備。2台のプレーヤーによる比較試聴や交互演奏、2台のデッキによるテープのデュプリケートが簡単に楽しめます。またスピーカー端子は3組を装備。A, B, C, A+B, A+C, OFF 6位置に切換えられます。

付属機能も豊富

●不快な局間ノイズを除去する効果的なFMミューティング●プリ・パワーアンプの分割使用●不要なノイズをカットするロー・ハイフィルターなど付属機能も豊富に完備しています。



ステレオレシーバー

SX-717

定価￥84,000

規格

パワーアンプ部

回路方式.....全段直結純コンプリメンタリー
OCL
実効出力(20Hz~20kHz, 同ch駆動).....37W+37W(8Ω, 歪率0.5%以下)
(1kHz, 同ch駆動).....40W+40W(8Ω), 50W+50W(4Ω)
(1kHz, 片ch駆動).....48W+48W(8Ω), 69W/69W(4Ω)

高調波歪率(実効出力時).....0.5%以下
混変調歪率(実効出力時).....0.5%以下

出力帯域幅(IFH, 同ch駆動).....10~60,000Hz
周波数特性.....7~80,000Hz ±1dB

入力端子(感度/インピーダンス).....POWER AMP IN500mV/50kΩ(実効出力時1kHz)
出力端子 SPEAKER.....A, B, C, A+B, A+C
HEAD PHONES4~16Ω

ダンピングファクター(1kHz, 8Ω).....40以上

プリアンプ部

入力端子(感度/インピーダンス).....PHONE, 1, 23mV/50kΩ
MIC2.7mV/50kΩ

AUX200mV/100kΩ

TAPE MONITOR, 1, 2200mV/100kΩ

出力端子(レベル/インピーダンス).....TAPE REC, 1, 2200mV
TAPE REC, 1(DIN)35mV

PRE OUT500mV(実効出力時), 4V(最大)
高調波歪率(20Hz~20kHz)0.1%以下

周波数特性.....10~20,000Hz ±1dB
トーンコントロール BASS10dB~+10dB(100Hz)
TREBLE-10dB~+10dB(10kHz)

フィルター LOW(6dB/oct)-8dB(50Hz)
HIGH(6dB/oct)-9dB(10kHz)

ラウドネスセンター (ボリューム-40dB時)+10dB(100Hz), +6dB(10kHz)

ミューティング.....-20dB

S/N(IHF, ショートサーキット)PHONE: 85dB以上
Aネットワーク: 95dB以上

FMチューナー部

実用感度(IHF)1.8μV
キャップチャレシオ(IHF)2.0dB

実効選択度(IHF)70dB以上

S/N70dB以上

イメージ妨害比(82MHz)90dB以上

IF妨害比(78MHz)100dB以上

スプリアス妨害比(82MHz)90dB以上

AM抑圧比50dB

高調波歪率 モノ0.3%以下

ステレオ0.5%以下

ステレオセパレーシヨン(1kHz)40dB以上

キャリアリーク抑圧比50dB以上

アンテナ300Ω平衡型, 75Ω不平衡型

ミューティングON-OFF

AMチューナー部

実用感度(IHF)10μV

選択度35dB以上(1,000Hz)

S/N50dB(30%変調)

イメージ妨害比80dB以上(1,000Hz)

IF妨害比75dB以上

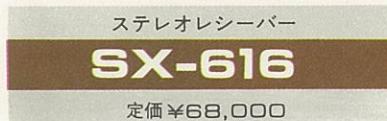
アンテナフェライトバーンアンテナ自藏

電源部その他

消費電力100W(定格), 270W(最大)

外形寸法485(W)×150(H)×390(D)mm

重量14kg



充実した機能と性能、豊かな応用性。

妨害排除能力のすぐれたチューナー部

FMフロントエンドにはFETと4連バリコン、IF部はセラミックフィルターとICの組合せ。FMの高忠実度受信に欠かせない感度、イメージ妨害比、スピアース妨害比などの妨害排除能力をはじめ、S/N、実効選択度など、音質を裏付ける物理特性が向上しています。またAMチューナー部に3連バリコンとセラミックフィルターを採用して、選択度、S/N、感度の向上を計っています。

見やすく同調精度の高い大型リニアスケールダイアルの採用

ダイアルスケールはパネル面いっぱいにとったワイドタイプ。しかもFMは250kHz間隔で刻まれた等間隔目盛のリニアスケールですから、周波数が読みとりやすく、近接局の選局も容易です。チューニングメーターも大型で見やすく、指針は同調点近くまでは段階的に振れ、S/Nの最良点で一段と大きく振れるユニークなタイプを採用しているため、同調精度が大幅に向かっています。

効果的なFMミューティング

FMミューティングにはFETを使用した高級回路を採用しています。快い働きで不快な局間ノイズを効果的に除去するほか、電波の弱い不要な局をきれいにカットします。

操作性を大幅に向上させた

クリックストップ式トーンコントロール

コントロールアンプは初段にFETを採用した高級な回路構成で、入力インピーダンスが高

く、安定度の高いコントロール特性を得ています。ツマミはクリックストップ式ですから、音質の再設定時やリスニングルームやスピーカー特性に合わせた音場補正が簡単にできます。しかもフラット位置では周波数特性にうねりがありません。

低歪率、広帯域設計の低周波部

周波数特性は5~80,000Hz±1dB、出力帯域幅は10~70,000Hz(IHF)という広帯域特性を得ています。パワーは20~20,000Hzの実効出力20W+20W(両ch駆動、8Ω、歪率1%以下)。能率の低いスピーカーシステムの使用時にも力強く、豊かな再生ができます。

2-PHONO,2-TAPE MONの充実した入力端子

2台のプレーヤー、2台のテープデッキが同時に接続でき、スイッチの切換で自由に選択演奏ができますから、カートリッジの比較試聴や連続演奏、テープからテープへのデュプリケートが簡単にできます。

充実した付属機構

スピーカー端子はA, B, C, A+B, A+C, OFFの6通りの選択ができます。また本格的なロー・ハイカットフィルターをはじめ、ブリ・パワーアンプの分割使用の可能な設計など、高級機としての充実した機能をもっています。



すぐれた同調精度でFMの高忠実度受信を約束。

音質重視のFMチューナーセクション

SX-515はFMの音質に焦点を合わせて、とくにチューナーセクションの充実を計ったレシーバーです。高性能化への鍵を握る物理特性の向上のために、FMフロントエンドにはFETを、IF部にはICと位相特性に留意したセラミックフィルターを組合せて、もっとも基本となる実用感度、イメージ妨害比、スピアース妨害比、S/N等の向上を計っています。したがって遠隔地でのシャープな受信はもとより、電界強度の強い地域での安定した受信、そして近接した2局間のきれいな選択受信が可能です。またステレオ復調回路には安定度が高く、周波数特性、歪率にすぐれたスイッチング方式を採用、ステレオ受信で大切なセパレーションも十分にとられています。

同調のとりやすいリニアスケールダイアル

FMのHi-Fi受信のポイントは、まず受信精度を得ることからはじめます。SX-515のダイアルスケールは、パネル面いっぱいにとられたワイドスケールタイプ。しかもFM目盛は等間隔のリニアスケールで、周波数が読みとりやすく近接局の間での選局が容易です。さらにチューニングメーターも見やすい大型仕様で、受信精度も大幅に向上しています。FM選局時の不快なノイズを効果的にカットするミューティングスイッチも付属しています。

十分なパワーと広帯域再生をめざした低周波セクション

すべて厳選したシリコントランジスターでま

とめあげた回路構成です。

実効出力はもっとも厳しい規準とされる20~20,000Hz、両ch駆動、8Ω、歪率1%を条件にして13W+13W。出力帯域幅は10~45,000Hz(IHF)と、ダイナミックレンジの広いソースの再生時に、すばらしい威力を發揮します。トーンコントロールはクリックストップ式。音質補正の再現時に便利に使えます。また電子式の電源ミューティング回路を内蔵していますから、電源スイッチの投入時に発生する不快な雑音がありません。

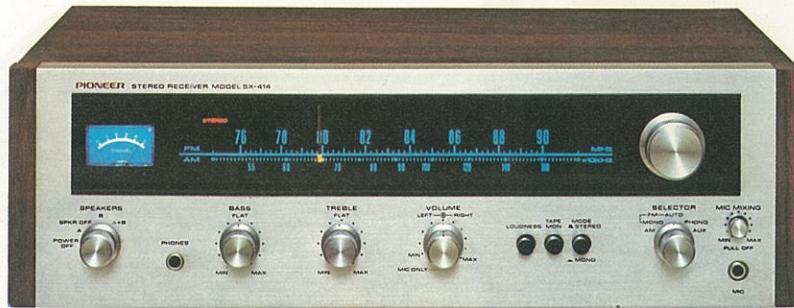
2組のTAPE REC/MON端子をはじめとする充実した入出力端子

入力側はPHONO、AUXの他2組のTAPE MON端子が設けられています。したがってオーブンリールやカセットデッキなどを2台同時に接続して、テープからテープへのデュプリケートや交互演奏が楽しめます。またフロントパネルにはマイクジャックを設けてあります。スピーカー用端子は2組。A, B, A+B, OFFの4ポジションが選べます。スピーカーの聴きくらべや2部屋での交互または同時演奏が楽しめます。

ステレオレシーバー

SX-414

定価 ¥42,000



オーディオの楽しさを広げるマイクミキシング回路付。

FETを使用したFMチューナー

FMフロントエンドはFETと3連バリコンを使用した本格的な回路構成。感度、選択度が一段とアップしているのをはじめ、イメージ妨害比、スプリアス妨害比などの妨害排除能力の向上を計っています。

精密な同調点が簡単に得られる

大型のメーターとワイドなダイアル

S/N最大、歪最少、さらにセパレーション最良の精密な同調点をキャッチすることが、Hi-Fi受信のポイントです。SX-414もSX-818をはじめとするパイオニアレシーバー共通の設計ポリシーを貫きました。ダイアルスケールはパネル面の左右いっぱいにいったワイドタイプ。実効長200mmのロングスケールです。しかもFM目盛りは等間隔のリニアスケールです。また大型のシグナルメーターの採用で、見やすくS/N、歪率、セパレーション特性の最良点が手ぎわよく選べます。

歪を低減した低周波アンプ部

パワー・アンプはオールシリコントランジスターによる準コンプリメンタリーSEPP方式。片チャンネル駆動時の実効出力は14W/14W(8Ω)。両ch駆動でも12W+12W(8Ω)です。また実効出力時の高調波歪率は1%以下。歪の低減を追求した設計で、周波数特性も20~70,000Hz±3dBという広帯域です。

楽しさを倍加するマイクミキシング装置

SX-414はマイクミキシング回路を内蔵しています。レコード、放送、テープなどを使って、

好きな歌手、バンドといっしょに歌い、弾くことができます。ミキシングされた信号は常にTAPE REC端子に出ていますから、テープに録音することもできます。レコードや放送等のプログラムソースとマイクはそれぞれ独立してレベルコントロールができ、ソースのボリュウムをいっぱいにしばればマイク拡声装置としても使えます。

メカニックな高級仕上げのデザイン

スイッチON。あざやかなライトブルーに浮び上るダイアルスケールとメーター。大型のチューニングダイアルをはじめ、ツマミはすべてメタルの高級仕上げです。斬新でメカニックなデザインはオーディオの楽しさをいっそく大きくさせます。

ミキシングプレイに最適
單一指向性型ダイナミックマイクロホン
(ウインドスクリーン付)

DM-3A 定価 ¥3,300



ステレオレシーバー

SX-300

定価 ¥33,900



ひとクラス上の高感度チューナーと余裕あるアンプの組合せ。

すべてが充実した本格的ステレオレシーバー

SX-300はコンポーネントの魅力をもっともシンプルな形で具体化した、アクティブに使えるステレオレシーバーです。ひとクラス上の性能をもつチュナー部と十分なパワーをもつプリメインアンプを一体にしたすぐれた性能に加えて、使いやすさ、手頃な価格、スペースファクターなどあらゆる面で、大きな魅力をそなえています。これからオーディオを楽しもうとするビギナーにも、またマニアのセカンドシステムとしても、うってつけ。コンポーネントの楽しさを手軽に楽しんでいただけます。

充実した高性能FM/AMチューナー部

FMチューナーはフロントエンドに厳選したFETを使用した高感度、高S/N、低歪率設計です。混信排除能力にもすぐれ、FM放送をすぐれた音質で楽しむことができます。

正確な同調点を簡単に得られる大型メーターとワイドなダイアルスケール

ダイアル面はとくに大きく広くとった設計で見やすく、中でもFMスケールは読みとりが楽で操作しやすいリニア(等間隔)スケール。大型のチューニングメーターの採用とあいまって、正確な同調点が簡単に選べます。

歪が少なく正確なコントロールができるプリアンプ部

イコライザーアンプは2段直結NF型回路で、RIAA偏差は±1dB以内とすぐれた性能を発揮します。またトーンコントロールは、BASS、

新製品

TREBLEとも調整範囲が広く、特性の素直な本格的な回路を採用。レコードに刻まれた音を忠実に、かつ効果的に再生します。

十分なパワーと低歪率設計のパワーアンプ部
出力は両ch駆動で7W+7W(歪率1%以下)。片ch駆動時では10W/10W(8Ω)の十分なパワーです。迫力ある低音から繊細な高音までバランスよく、余裕のある再生ができます。

必要なものはすべてそろった入出力端子

入力端子はPHONO,AUX,TAPE MONを完備。スピーカー端子はA,Bの2組をそなえ、A,B,A+B,OFFの4ポジションに使いわけることができます。スピーカーの切替え試聴、2部屋でのリスニングに便利です。またAUX端子とTAPE REC/MON端子にテープデッキを接続しますと、テープの交互演奏や、テープからテープへの音のデュプリケート(転写)ができます。

完備した付属機能

●ヘッドホンはさしこむだけで使えます●ラウドネスセンター、モノーステレオ切換えボタン付●予備電源コンセントは2組を設け、うち一回路は電源スイッチ連動式●アンテナ端子はFM300Ωの他75Ω端子を完備。



3方式(CD-4、RM/SQ)の4ch再生機能を内蔵。

ユニークなパワーブースティングサーキットを採用した全段直結純コンプリメンタリーOCL回路のハイパワー4chレシーバー

3方式の4ch再生機能を内蔵

QX-704に内蔵のCD-4ディモジュレーターは、PLLやFETを駆使して、周波数特性やセパレーションに十分な配慮を施した本格的な設計です。使用頻度の多いレコードでも雑音の発生を自動的に補正してS/Nを良くするASC回路を内蔵しています。このため長時間の演奏にも、常に安定した最良の状態を維持します。セパレーションやキャリアアレベルの調整は、付属のテストレコードを用いて簡単に行うことができます。

RM/SQ 4ch再生にはRM, SQレコードがもともと効果的に再生できるよう、それぞれに適したデコーダーを内蔵しています。RM, SQマトリックスレコードや放送はもちろん、従来の2chレコード、テープ、放送もマトリックスデコーダーを通してによって効果的な臨場感を得られます。

全段直結純コンプリメンタリーOCL回路を採用した大出力、低歪率パワーアンプ

4ch駆動時の実効出力は20~20,000Hzで20W×4(8Ω、歪率0.5%以下)の大出力、低歪率設計です。電源回路には15,000μF×2の大容量電源コンデンサーの採用で、安定性がきわめて高く、すぐれた低域特性を得ています。

2ch再生では出力をアップして使える独特のパワーブースティング・サーキット

リアパネルに設けられたスイッチの切換えに

よって、2ch再生時の出力をパワーアップして使用できます。QX-704に採用した回路は一般にBTL回路といわれるものとは異なり、4Ωのスピーカーシステムでも安心してハイパワーで駆動することができます。

高性能設計のイコライザーアンプ

回路は3段直結型の高級設計。2chステレオ、4chのCD-4再生時にかかわらず、その性能を最大限に發揮します。最小限におさえられたイコライザーバイアス、大きくとった最大許容入力の設定で、レコード信号を忠実に再生します。

FRONT、REAR独立調整式。素直な特性のトーンコントロール

コントロールアンプは3石構成のN F型で、S/Nにすぐれ、素直なコントロール特性を得ています。調整はFRONT, REARの各々が独立してできるため、スピーカーシステムが違っても4ch音場をもっとも効果的に再現できます。

安心して使える完璧な保護回路を内蔵

保護回路はパワーリレーと電子回路を組合せた信頼性のきわめて高い回路構成で、確かな動作が保証されています。この回路は電源ミューティングをも兼ねていますから、電源投入時の不快なショックノイズがありません。

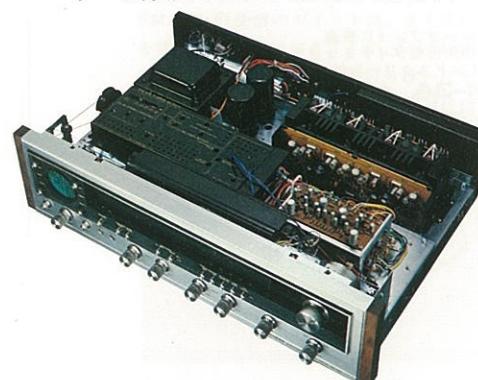
高性能、高安定なFMチューナー

周波数直線型4速バリコン、MOS FETを使ったFMフロントエンド部。FM専用の高集積

度ICとフェイズリニアセラミックフィルターを採用した5段リミッターのIF部。直線性にすぐれたクォドランチュア検波回路。高集積のFM MPX専用ICの採用など、チューナー部には最新の素子群による回路設計を採用しています。またFMミューティングスイッチの他、4chのMPX出力端子も設けてあります。

便利な4チャンネルレベルインジケーター

出力レベルが一目で見え、4チャンネル再生時のレベル調整が正確に、かつ簡単にできます。0dB、-10dB、-20dB、-30dBとボリュームレベルに応じたインジケーター(度)の切換えができます。またテストレコードによるCD-4のセパレーション調整時には、このインジケーターの利用で、きわめて正確にできます。



4チャンネルレシーバー

QX-704

定価 ¥148,000

規格

アンプ部	差動1段全段直結純コンプリメンタリーOCL
回路方式	回路方式
実効出力(20Hz~20kHz, 4ch駆動)	20W×4(8Ω), 25W×4(4Ω) (1kHz, 4ch駆動) ... 25W×4(8Ω), 30W×4(4Ω) (1kHz, 1ch駆動) ... 33W/33W/33W/33W(8Ω) 45W/45W/45W/45W(4Ω)
2chパワーブースティング・サーキット	2chパワーブースティング・サーキット
実効出力(20Hz~20kHz, 2ch駆動)	40W+40W(8Ω), 50W+50W(4Ω) (1kHz, 2ch駆動) ... 45W+45W(8Ω), 55W+55W(4Ω) (1kHz, 1ch駆動) ... 50W/50W(8Ω), 65W/65W(4Ω)
高調波歪率(実効出力時)	0.5%以下
混変調歪率(実効出力時)	0.05%以下
出力帯域幅(IHF, 4ch駆動)	7~40,000Hz(歪率0.5%)
ダンピングファクター(1kHz, 8Ω)	35
残留雜音	1mV以下
入力端子(度/インピーダンス)	入力端子(度/インピーダンス)
PHONE	2.5mV/50kΩ
PHONO外部音入力(rms/p-p)	100mV/280mV
AUX	140mV/100kΩ
TAPE MONITOR(2ch, 4ch)	140mV/100kΩ
出力端子(レベル)	出力端子(レベル)
TAPE REC(2ch, 4ch)	140mV
SPEAKER	フロント用1組、リア用2組(4~16Ω)
HEAD PHONES	フロント、リア(4~16Ω)
周波数特性 PHONO(RIAA偏差)	30~15,000Hz, ±1dB
AUX, TAPE MON	10~25,000Hz, +0.5 dB, -1dB
トーンコントロール BASS	+10dB ~ -10dB (100Hz)
TREBLE	+10dB ~ -10dB (10kHz)
ラウドネスコントローラー (ボリューム-40dB時)	+6dB(100Hz), +3dB(10kHz)
S/N(IHF, ショートサーキットA点)	70dB以上
ツットワーク PHONO	70dB以上
AUX, TAPE MON	90dB以上
CD-4ディモジュレーター部	CD-4ディモジュレーター部
入力感度	2.5mV(1~5mV可変)
入力インピーダンス	100kΩ
歪率	0.07%
S/N(IHF, Aネットワーク)	70dB以上
セパレーション(標準信号1kHz)	70dB以上
印加時 LEFT~RIGHT	50dB
FRONT~REAR	30dB
周波数特性	20~15,000Hz
FMチューナー部	FMチューナー部
実用感度(IHF)	1.9μV
キャップチャアレシオ(IHF)	1dB
実効選択度(IHF)	60dB
S/N	70dB
イメージ妨害比(82MHz)	85dB以上
IF妨害比(82MHz)	100dB以上
スリップアース比	100dB以上
AM抑圧比	55dB
高調波歪率 モノ	0.2%以下
ステレオ	0.4%以下
周波数特性 ステレオ	20Hz~15kHz, +0.2dB, -2.0dB 50Hz~10kHz, +0.2dB, -0.5dB
ステレオセパレーション 1kHz	40dB以上
50Hz~10kHz	30dB以上
キャリブリケーション	65dB
アンテナ	300Ω平衡型, 75Ω不平衡 ON-OFF可能
AMチューナー部	AMチューナー部
実用感度(IHF, バーベンテナ)	300μV/m
実用感度(IHF)	15μV
選択性	35dB
S/N	50dB
イメージ妨害比	45dB以上
IF妨害比	55dB以上
アンテナ	フェライトバーベンテナ自蔽
電源部その他	150W(定格), 340W(最大)
消費電力	550(W)×160(H)×420(D)mm
外形寸法	19.1kg

4 チャンネルレシーバー

QX-604

定価 ¥100,000



3方式[CD-4/RM/SQ]の4ch再生機能を内蔵。 高性能で多機能な4chレシーバー。

3方式の4ch再生がアダプターなしでOK

QX-604にはRM, SQの両マトリックスデコーダーと、CD-4ディスクリート4chを効果的に再生するディモジュレーターを内蔵。現在市販されているすべての4chソースの再生はもちろん、従来の2chソースもマトリックスデコーダーを通すことにより効果的な再生ができます。

抜群な効果を発揮するCD-4再生機構

QX-604に内蔵のCD-4ディモジュレーターは、PLLやFETを駆使して、周波数特性やセパレーションに十分な配慮を施した本格的な設計です。使用頻度の多いレコードでも雑音の発生を自動的に補正してS/Nを良くするASC回路の内蔵で、長時間の演奏にも常に安定した最良の状態を維持することができます。

トーンコントロールはフロント、リアが独立
トーンコントロールには二重ボリュームを採用。BASS, TREBLEとともにFRONT, REARを別々にコントロールできます。FRONT, REARで性格やタイプの異ったスピーカーシステムを使うときに、音質を思いどおりに調整できます。

前後左右のバランス調整も自由自在

3個のボリュームで構成したバランスコントロールの採用で、フロントの左右、リアの左右、そして前後の音量調整が自由にコントロールできます。

リアスピーカーは2組の接続が可能

前方に4台のスピーカーシステムを並べる4-0方式や前後に2台ずつを設置する2-2方式の比較試聴、リアスピーカーのタイプや設

置位置の違いによる4ch音響効果の比較などに、便利に使えます。

妨害排除能力にすぐれたFMチューナー部

FMフロントエンドにはFETを、IF部にはICとセラミックフィルターを組合せた音質重視の本格的な設計で、混変調が少なく妨害排除能力がいちだんとすぐれています。

局間ノイズを効果的に除くFMミューティング

またFMミューティングはON-OFFのスイッチ式。この回路は不要な遠距離局のカットにも働ききます。

MODEに応じたインジケーターの点灯

4chのCD-4、RM, SQと2chの表示がモードスイッチの切換と共にランプの点灯でダイアル面に表示されます。

十分なパワーでゆとりのある再生音

実効出力は4ch駆動で10W×4(8Ω, 1kHz)。またフロントだけを駆動する2ch駆動では13W+13W(8Ω, 1kHz)です。したがって広いシステムで歪のないクリアな、しかもパワフルな演奏ができます。

小音量時に迫力をつけるラウドネスセンター

音量をしづらても迫力を損いません。ラウドネスセンターをONにするだけで、耳の特性を補正するようにレシーバーの音質がコントロールされます。

ヘッドホン端子も完備

パネル面に設けられたジャックに差し込むだけでヘッドホンが使えます。4ch演奏ではフロントの左右信号の再生ができます。

4 チャンネルレシーバー

QX-401

定価 ¥68,000



RM/SQマトリックスデコーダー内蔵。 高感度チューナー付4chレシーバー。

手軽に4chが楽しめる本格的4chレシーバー

QX-401はFM/AMチューナー、レギュラー/SQマトリックスの両デコーダー回路、それに4台のアンプから構成された本格的な4chレシーバーです。テープによるディスクリート4ch再生はもちろん、レギュラー/SQマトリックスによる4ch再生ができます。またディモジュレーターを追加すればCD-4ディスクの再生もできます。

ディスクリート4ch再生

4chテープデッキを使用してのテープによるディスクリート4ch再生。さらにディモジュレーターの付加でCD-4ディスクによる4ch再生が可能です。セパレーションが完全にとれたもっとも効果的な4ch音場が楽しめます。

マトリックス4ch再生

4chで録音した音を2chにまとめ、それを再生装置で4ch化して再生する4-2-4方式のマトリックスレコードや、FM放送による4chの受信再生ができます。レギュラー、SQの2ポジションがあり、それぞれの効果を十分に發揮させます。

チューナーは高感度、高選択度設計

FMフロントエンドにはFETを、IF部にはICとセラミックフィルターを使用。高感度化はもちろん選択度が向上し、雑音のない受信ができます。リニアタイプのダイアルスケールと大型のメーターを採用していますから、同調点を正確にキャッチできます。また不快な局間ノイズをきれいにカットするミューティ

ングスイッチ付です。

音質調整はフロント、リアが独立して可能。フロント、リアにそれぞれ専用のトーンコントロールがついています。リスニングルームの音響特性や好みに合わせて自由に音質をコントロールできます。

3つのバランスコントロールを配備

フロントの左右、リアの左右、フロントとリアのバランスをコントロールできますので、お部屋のどのポジションで聞いても最適な臨場感が得られます。

2組使えるリアスピーカー

リアスピーカーを同時に2組接続できます。前方2、後方2の2-2方式ばかりでなく、前方2、側面2など、スピーカーの配置のちがいによる4ch音場効果の変化を聴きくらべることができます。

効果的なディスクリート4ch再生を約束する

CD-4ディモジュレーター

QD-240

定価 ¥37,000



CD-4カートリッジ

PC-770EX

定価 ¥22,000



取扱店

昭和48年10月22日より価格を改訂いたし、新価格で表示しております。
カタログに掲載の規格及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

パイオニア株式会社

他の製品のカタログは希望製品名ご記入の上墨143 東京大森局区内バイオニア宣伝部カタログ係へ。
製品をご覧になりたい場合はお近くのバイオニア製品取扱店又は当社ショールームへ。
大阪ショールーム³⁶³⁻²²⁷¹ 広島ショールーム⁴⁷⁻⁴³⁶⁸